# 資產管理ISM Client Care





### 目次



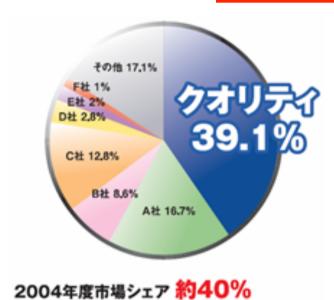
- ISM Client Careとは
- 資産管理の必要性
- サービス概要
- サービスイメージ
- サービス特長
- 動作環境
- その他特記事項
- お申し込み・お問い合わせ
- Appendix

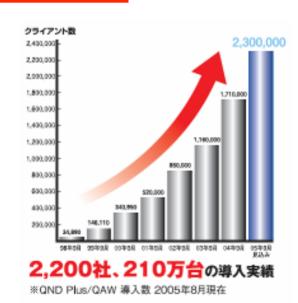


PC資産管理や情報セキュリティ対策を、サーバ構築やシステム管理の負担なく、インターネットを利用してご提供するIT資産管理・セキュリティ維持サービスです。



## 資産管理ツールNO.1!!!





- ・「クライアントPCの構成管理・セキュリティ管理」
- ・3000社/270万ライセンスの出荷実績!!!
- ・東証1部上場企業の4社に1社が導入!!!

#### こんな方におすすめ!



#### こんな問題に心当たりは・・・

- 専任のPC管理者がいない。
- 手作業でのPC管理(台帳作成、実棚卸)が限界に来ている。
- 親会社、取引先からIT統制を求められている。
- ソフトウェアのライセンス管理ができていない。 セキュリティ対策をどこまでやればいいのかわからない。
- 情報流出事故を予防したい。



## TEKI-PAKIを導入して・・・

- ●専用サーバの設置や専任の管理者は不要
- ●Winny、Shareなどの使用禁止ソフトを検出
- ●各クライアントPCのハードウェア/ソフトウェア情報を自動収集
- ●マイクロソフト社のセキュリティパッチを強制適用

必要性拡大



## ■資産管理ツールの必要性が拡大!!!

## IT資産管理におけるISO、法制度が強化 ・ISO27001: 資産全ての目録を、作成し維持しなければならない 法制度 ISO20000:すべてのIT資産の明確化 構成管理で管理する情報を他のプロセスへ提供する ITインフラストラクチャと構成記録の整合性検証を行う •ISO19770: 違法コピーの取り締まり強化 企業への監査活動の多発化が予想される IT管理者の負担増大 企業 ・専仟のPC管理者がいない •PC台数が多くなり、手作業でのPC管理が限界に来ている IT統制を求められている ・ライセンス管理ができていない セキュリティ対策ができていない、分からない 資産管理

社会

# 情報流出事故が多発!

- 情報流出により社会信用度の低下
- インターネットに流出した情報は回収が不可能
- 社員全員のPC利用環境の把握、整備
- ■WinnyやShare等のP2Pソフトの使用禁止

#### 資産管理の必要性



## ■IT資産管理を取り巻く環境

全ては、「現状把握」から始まります。 正確に、そして定期的に管理を行う為には、手作業の限界があります。

#### ISO27001, ISMS

- A.5 セキュリティ基本方針
- A.6 情報セキュリティのための組織
- A.7 資産の管理
- ~資産全ての目録を、作成し維持しなければならない~
- A.8 人的資源のセキュリティ
- A.9 物理的及び環境的セキュリティ
- A.10 通信及び運用管理
- A.11 アクセス制御
- A.12 情報システムの取得、開発及び保守
- A.13 情報セキュリティインシデントの管理
- A.14 事業継続管理
- A.15 コンプライアンス·管理目的及び管理策

#### ISO20000, ITIL

(ITIL:IT Infrastructure Library)

サービスサポート

インシデント管理

問題管理

#### 構成管理

すべてのIT資産の明確化

構成管理で管理する情報を他のプロセスへ提供するITインフラストラクチャと構成記録の整合性検証を行う

#### 変更管理

リリース管理

サービスデスク

## 資産管理の必要性



## ■クライアントPCに潜む脅威

増えつづける「情報流出事故」・・・ インターネットに流出した情報が回収が不可能です。

「情報流出事故」はその後も事故は増える一方です。 情報流出事故を防ぐ根本的な解決策は、 「Winny」や「Share」等のP2Pソフトを使わせない事です。



#### 2007年6月に確認された情報流出事故

事故発生日	流出内容	事故発生日	流出内容
2007/6/28	86名分の社員	2007/6/14	性犯罪被害者の実名
2007/6/28	439名分の個人情報	2007/6/14	県民情報
2007/6/26	33名分の児童	2007/6/14	142名分の顧客
2007/6/25	1,620名分の顧客	2007/6/7	100名分の隊員
2007/6/25	1万7,181名分の顧客	2007/6/7	248名分の児童
2007/6/22	312名分の卒業生	2007/6/7	21名分の児童

#### サービス概要



~資産管理体制の強化と情報漏洩リスクの低減を可能にする PCセキュリティ維持管理サービ

ス~

サーバを設置することなく、クライアントPCのハードウェアやソフトウェアのインストール情報を収集・レポートできる情報セキュリティ対策サービスです。

「内部統制の構築」、「情報漏洩対策の確立」という 企業にとっての緊急課題に対し、 短期間・低コストでの解決策をご提供します。

## 【サービス価格】

■ 1ライセンス: 月額600円/年額7,200円(税抜)

■ 初期費用: なし

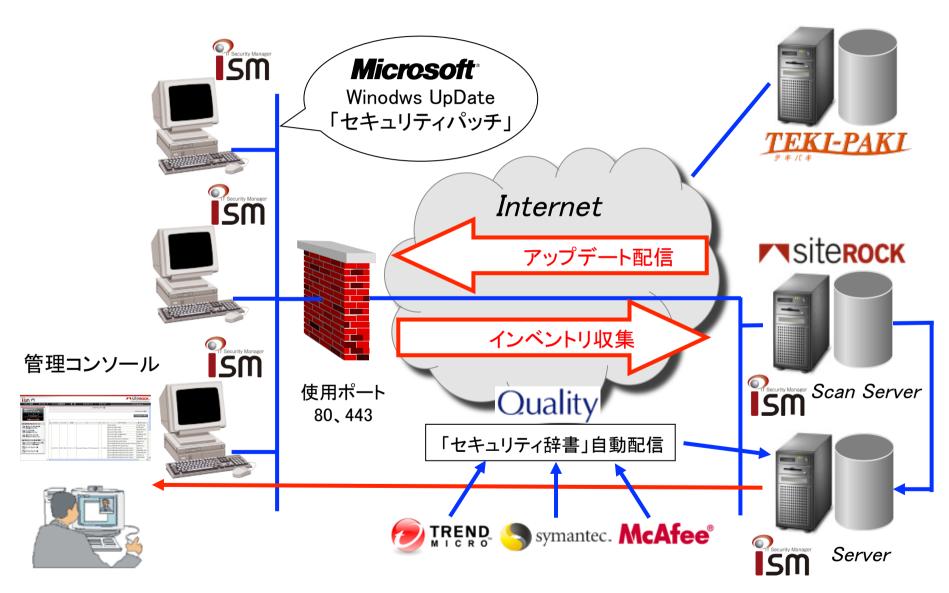
■ 最低契約数: 3ライセンス~

■ 最低契約期間:1ヶ月以上

■ 年額一括払い: 可

#### サービスイメージ







# 1. Windows Update強制更新機能

- ≫クライアントPCのWindows Updateの自動更新設定に変更
- ≫変更指示の確認をクライアントPCから定期的に実施
- ≫セキュリティレベルの維持を実現





### 2. セキュリティレベル診断

- ≫ユーザー企業の状況と、セキュリティ辞書を比較して6段階で診断
- ≫セキュリティ辞書機能を実装。セキュリティ辞書は毎日更新





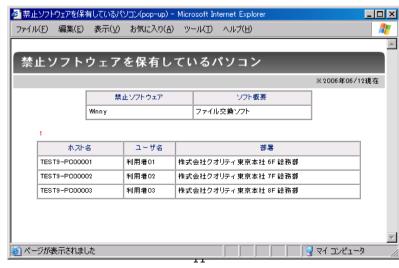
#### 3. 不正ソフト検出機能

WEBコンソール上で、クライアントPCにインストールされた不正ソフトをレポーティングします。WinnyやShare等のインストール状況が把握できます。

#### 【管理者サイト】



不正ソフトウェア別 詳細情報



- ・ホスト名
- ・ユーザ名
- •部署名



## 4.ライセンス管理レポート

インストール数と購入ライセンスを比較し、ライセンス利用状況をレポーティングします。



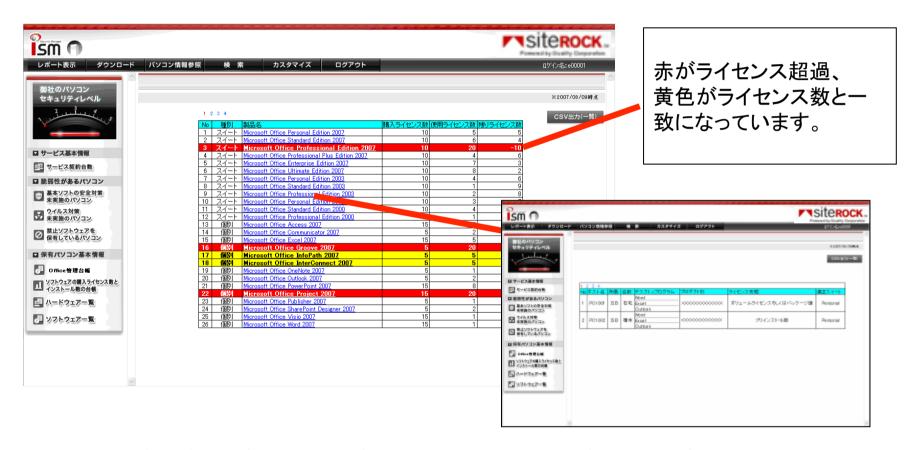
ソフトウェア名、購入ライセンス数 使用ライセンス数、残りライセンス数。 レポート表示したいソフトウェアを設定できます。

ライセンス購入数も随時、数量変更可能となっております。



#### 5.Officeのライセンス管理レポート

インストール数と購入ライセンスを比較し、ライセンス利用状況をレポーティングします。



→Officeバージョンごとの管理が可能になります。また各端末で適正なOffice製品 (Personal/Professional)の選定が可能です。



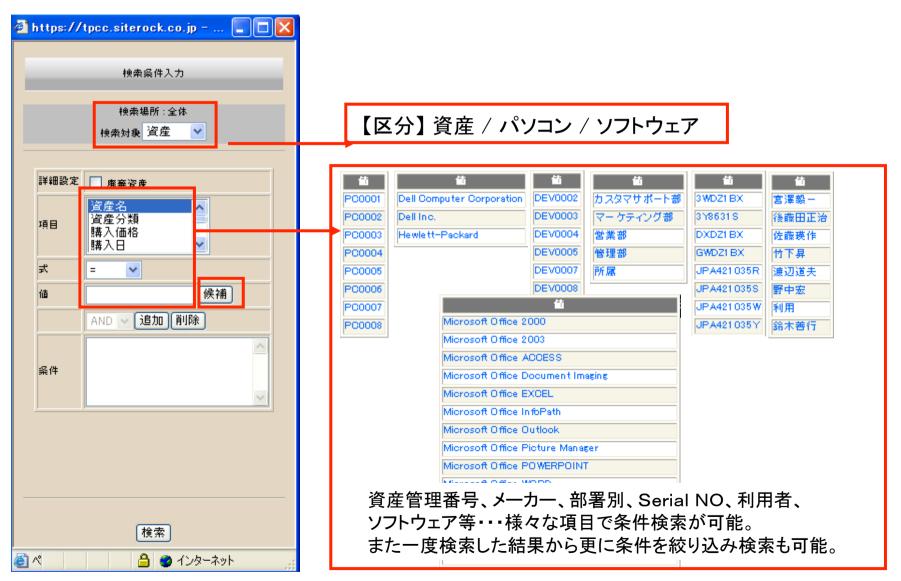
## 6. 各種レポート作成機能

- ◎基本ソフトの安全対策未実施のパソコン
  - : セキュリティパッチの適応状況の確認
- ◎ウイルス対策未実施のパソコン: インストール状況確認
  - (対応:TREND MICRO社、Symantec社、McAfee社)
- ◎禁止ソフトウェアを保有しているパソコン
- ◎ソフトウェアの購入ライセンス数とインストール数の台帳
  - :ライセンス違反の管理
- ◎ハードウェアー覧(ホスト名、ユーザ名、部署、ログオンユーザ名、OSなど)
- ◎ソフトウェア一覧(ホスト名、ユーザ名、部署、ソフト名、バージョン情報など)
- ◎Office台帳:ライセンス違反の管理・バージョン統一管理





## 7. 資産・パソコン・ソフトウェアの検索機能

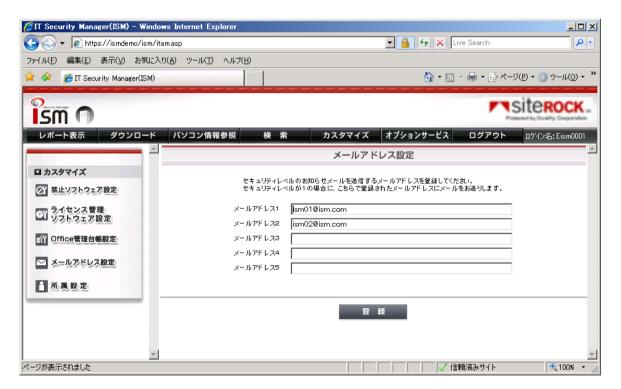




## 9. アラートメールの送信

セキュリティレベルが「1」に低下した際にアラートメールを送信します。

- ・送信先のメールアドレスはWEB画面よりお客様が入力可能
- ・最大5つまでアドレスを設定可能
- 設定されたメールアドレスに毎日メールを送信します。



# 動作環境



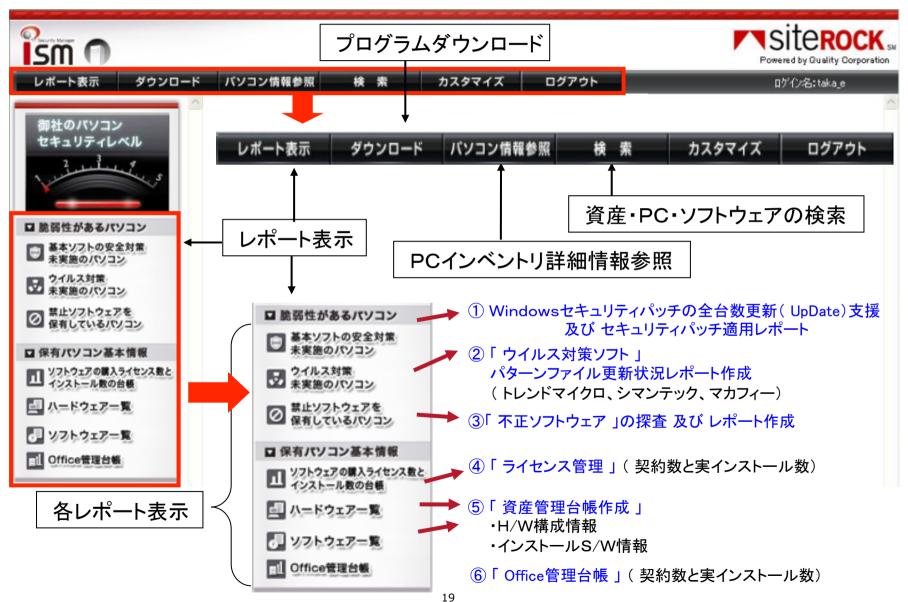
OS	Windows 2000 Professional (SP4)		
	Windows XP Professional (SP1/SP2/SP3)		
	Windows XP Home Edition (SP1/SP2/SP3)		
	Windows Vista Home Basic		
	Windows Vista Home Premium		
	Windows Vista Business		
	Windows Vista Enterprise		
	Windows Vista Ultimate		
	※サーバOSは対象外となります。		
CPU	Intel Celeron 500MHz以上のプロセッサ		
メモリ	256MB以上		
ハードディスク	500MB以上		
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1以上		
	Microsoft Internet Explorer 7.0		
ネットワーク	インターネットに接続可能で、HTTP及びHTTPS通信が可能であること。		
	通信には、80番・443番ポートを使用します。		
	※管理コンソールはInternet Explorer 6.0 SP1およびInternet Explorer 7.0でご利用いただけます。		
	※プロキシサーバをご利用のお客様は別途ご相談ください。		

# **Appendix**



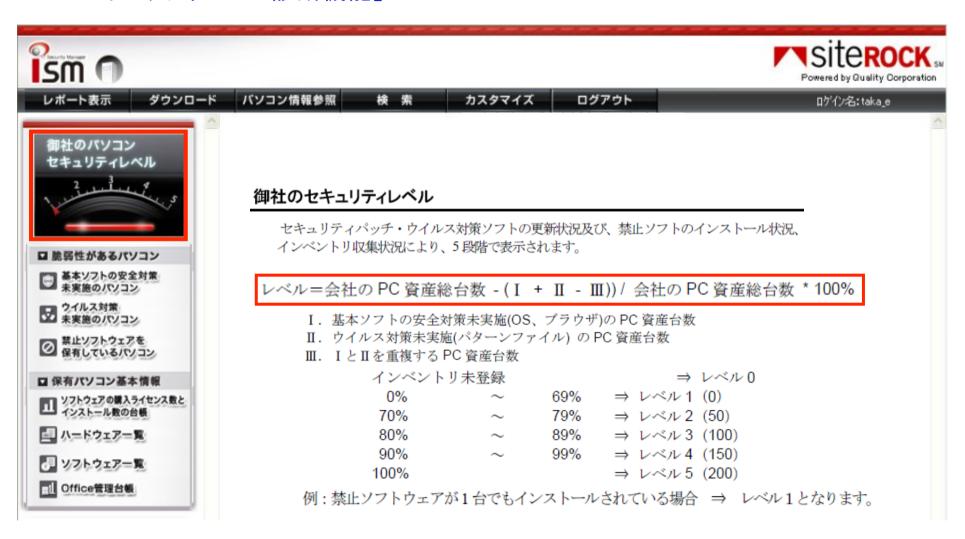


#### ■メニュー (機能)一覧





#### ■「セキュリティレベル診断機能」





#### ■「基本ソフトの安全対策未実施のPC」



#### ●表示項目●

ホスト名、ユーザ名、部署名、OS(ServicePack・Version含)、ブラウザ(Version含)、メールアドレス、インベントリ取得日時、自動更新設定有効。



#### ■「ウイルス対策未実施のPC」





#### ■「禁止ソフトウェアの保有PC」

Webコンソール上で、クライアントPCにインストールされた不正ソフトを表示。 WinnyやShare等のインストール状況が把握可能。



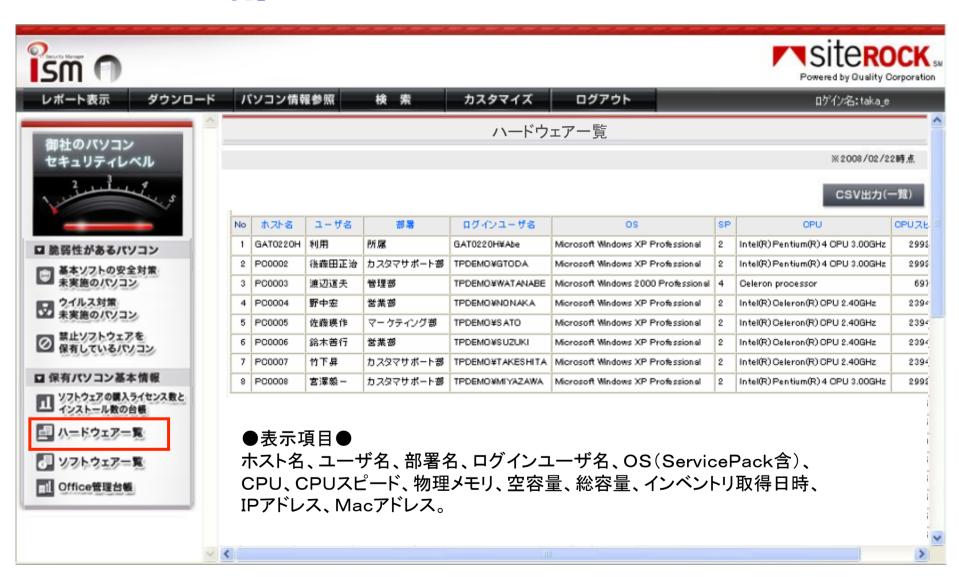


#### ■「ソフトウェア購入数とインストール数」



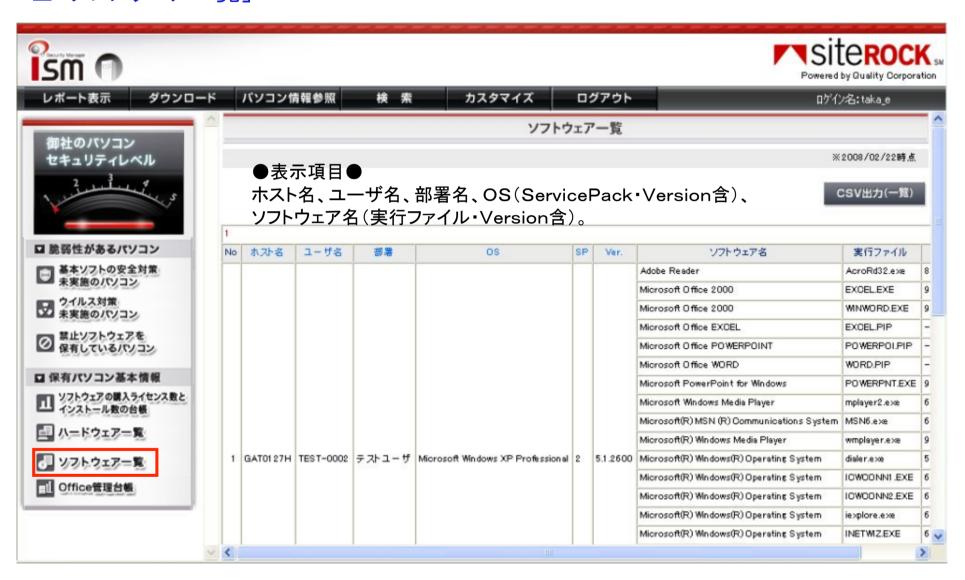


#### ■「ハードウェアー覧」





#### ■「ソフトウェアー覧」





#### ■「Office管理台帳」





#### ■パソコン詳細情報

